

# 歯科口腔外科（周術期口腔管理）

## Plan 計画

- ・骨吸収抑制薬服用中の顎骨壊死副作用を周知する。
- ・周術期口腔機能管理は、手術療法患者に限局したものではなく、放射線治療、化学療法またはその両者の併用療法も該当する。
- ・骨吸収抑制剤使用患者の顎骨壊死や骨髄炎がしばしば認められるため、投与前の口腔管理は重要である。
- ・年間の当院がん手術件数と放射線・化学療法ならびに骨吸収抑制剤の患者数と依頼件数をもとに、計画を立案する。

## Do 実行

- ・周術期口腔機能管理を行いながら、各委員会等で周術期口腔管理の重要性や必要性を周知していく。
- ・血液疾患患者は、化学療法のみならず造血幹細胞移植後の口腔内の諸問題が出現するため、積極的に周術期口腔機能管理を行っていく。
- ・骨吸収抑制剤はしばしば悪性腫瘍の骨転移治療に用いられるが、その副作用としての顎骨壊死や骨髄炎があるため、投与前に十分に口腔内を管理する必要があることをポスター掲示や配布資料作成を行って周知していく。

## Action 改善

- 【受診数を増やすには】
- ・周術期口腔機能管の有効性を様々な会議等で説明し、効果と結果を検討しフィードバックを行う。
  - ・年齢を問わず周術期口腔機能管理は必要となってくるため、外来で口腔機能管理が難しい患者にも対応できるように往診を拡充させる。
  - ・周術期口腔機能管理の質の向上に努める。

## Check 評価

依頼件数(総数、科別など)  
年々、着実に増加していることを評価するとともに問題点を抽出する。

